

〔A類現代教育実践コース学校教育プログラム 対象〕

小論文 解答例

令和5年度

一般選抜前期

私費外国人

帰国生

問Ⅰ この文章では、教育の危機の本質を「問と答との距離が非常に短くなっている」と表現しているが、著者がどのように考えた理由について、本文の内容に即して四〇〇字以内（句読点等を含む）で説明しなさい。

〔出題意図〕

教育の危機について論じた出題文を読み、「問と答との距離が非常に短くなっている」という指摘の実態的な内容を踏まえた上で、そこに潜む教育上の本質的な問題を著者がどのようにとらえているのかを理解し、表現する問題である。

〔採点のポイント〕

出題文では、身近な試験勉強を例に挙げながら、「問と答えとの距離が非常に短くなっている」実態を取り上げ、そのような学習においては、本来重視されるべき思考や発達のプロセスが省略されていることを論じている。著者自身は、この省略されているプロセスこそ教育の核心であるとみる教育観や学習観に依拠しているということを理解した記述がなされていることが採点の第一のポイントとなる。さらに、著者は「問」と「答」が、必ずしも一対一対応の関係に限定されないこと、教師の専門性は、まさに「問」と「答」の間に存在するプロセスで発揮されるものとみているため、これらの点も含めて、適切に表現できているかが第二のポイントとなる。誤字・脱字・判読不能な文字がないか、指定の字数は守られているかも採点の対象となる。

問Ⅱ 著者が指摘する教育の危機を克服するためには、教師はどのような授業観をもつことが重要か。小学校での教育実践を念頭に置いて、あなた自身の考えを六〇〇字以内（句読点等を含む）で論じなさい。

〔出題意図〕

著者の指摘する問題を克服するために重要と思われる点について、教師の立場にたって、自分自身で具体的に思考し、判断し、表現することができるかをみる問題である。

〔採点のポイント〕

解答は一つに限定されるものではないが、問Ⅰの設問内容に対する理解を前提として、教育のプロセスそのものに価値を置く授業観を自分の言葉で説明できているかが第一のポイントとなる。そのうえで、小学校での教育実践を念頭に置いて、（例えば、教育目標や授業計画、実際の授業プロセスのとらえ方、指導の臨機応変性や柔軟性などに触れながら）具体的に説得力のある表現で説明できているかどうか第二のポイントとなる。誤字・脱字・判読不能な文字がないか、指定の字数は守られているかも採点の対象となる。